山岸徳平　やまぎしとくへい　国文学者。明治二十八年十一月二十五日新潟県西蒲原郡曽根村生れ、昭和六十二年五月二十二日没（一八九三―一九八七）。號岸雄舎。大正十二年東京帝国大学文学部国文学科卒。学習院、東京文理科大学、東京教育大学各教授歴任。昭和二十二年実践女子大学学長就任。

著書『河内本源氏物語研究序説』（昭和十一年二月十日岩波書店）、『日本文藝論―國世學院大學國文科開設記念論文集』（今井著・國世學院大學國文學科編、昭和十九年二月十日昭森社）、柿村重松著『上代日本漢文學史』（校訂、昭和二十二年七月二十八日日本書院）、『國語の擁護―現代假名遣ひを駁す』（今井著・國語教育所編、昭和二十三年九月十日城北書房）、『物語について』（昭和二十二年六月二十一日大東急記念文庫「文化講座シリーズ」）、『書誌学序説』（昭和五十二年十二月十四日岩波書店「岩波全書」）等。